

R3 年度 地域学校協働活動・コミュニティスクールの取り組み

○地域学校協働活動の初年度、地域学校協働活動推進員を中心に、学習活動、学校環境整備を実施していただいた。

【宮津学院】

小学6年「杉山観察会」（11月）



小学6年生は、総合的な学習の時間で、毎年上宮津地区の杉山観察を行っています。杉山は天然杉の宝庫で、幹回り3mを超える巨樹が数百本群生し、当日は「上宮津・杉山エコガイドの会」の方々にお世話になり、自然の雄大さや歴史の重みを実感しました。

小学校「マラソン大会の安全監視ボランティア」（12月）

試走日、本番当日の2日間で17名の地域の方々に支援していただきました。事故なく大会を実施できたとともに、子ども達の教育活動を間近で見ていただくよい機会となりました。



小学4年「宮津おどり体験」（12月）



全国的にも知られる宮津が誇る伝統芸能「宮津おどり」。社会科の学習の一環として「宮津おどり振興会」の方々に教えていただきました。

子ども達は体験を通して、ふるさとの良さについて実感しました。

小学3年「算数 そろばん学習の学習支援」（1月）

子ども達に寄り添い、丁寧でやさしい言葉かけで支援をしていただきました。

子ども達も教えていただける人が間近にいることで理解が深まりました。



【栗田学院】

図書室の整備

毎週木曜日、本の整理や新刊紹介コーナーの本の入れ替え、季節の飾り付けなどをお世話になっています！



おすすめ本の紹介

毎週、委員さんが選定された本が並ぶコーナーがあり、貸し出し簿もあります！（先生達のおすすめ本もあります。）



子ども達とともに



本の読み聞かせ

月2回、朝読書の時間に読み聞かせボランティアの方々がいろいろなジャンルの本を紹介してくださいます！



地域とのコーディネート

地域とのコーディネートをしていただき、校地除草やヤマノイモ畑の見学が実現しました！



学校運営協議会委員の皆様は「できるときに、できる人が、できることを」「栗田学院の子ども達が豊かに成長できるように」との思いで活動してくださっています。

学校と地域をつなぐ

令和3年10月20日

第1号

栗田学院コミ~~ハ~~スクだより

栗田学院学校運営協議会（コミュニティスクール）

栗田学院学校運営協議会だより発刊にあたり

会長 千坂 幸雄

栗田地区及び由良地区の皆様、栗田学院学校運営協議会の会長を昨年度よりさせていただいています千坂と申します。よろしくお願ひいたします。

組織は校長や教頭、PTA役員、及び地域の方で宮津市教育委員会から任命を受けたものです。委員14名でその中に地域学校協働活動推進員が2名います。

【学校運営協議会会則】

第2条(趣旨及び事業等)

協議会は、学院・学校運営への参画等を進めることにより、学院・学校と保護者及び地域住民との双方向の信頼関係を深め、地域・家庭及び学院・学校がその教育力を相互に高め、次の各号に掲げる事項の達成を目指すものとする。

(1) 地域、学校、家庭の三者が協働し、一体となって学院・学校運営や児童・生徒の育成に取り組む。
(以下省略)

とあるように、今まで以上に地域が学校と関わり、協働して児童生徒を育成し、信頼関係を深め、地域とともに学校づくりを推進していきます。

このたよりで、これまでの取り組みや今後の予定などをお知らせして、より多くの皆様が学校と関われるようになることを期待いたします。

2回目の「読み聞かせ」 栗田小学校で！！

10月14日（木）午前8時30分から8時40分の10分間、3名のボランティアさんに1年～3年の各教室で、本や物語等の読み聞かせをお世話になりました。

すでに1回目は、9月30日に4年生から6年生がそれぞれ学年に合った本を読んでもらいました。

朝早くから、ボランティアさんありがとうございました。

とても静かに、真剣なまなざしで聞いてくれて良かったです。

☆今後も毎月第2、第4木曜日に、たくさんのボランティアさんにお世話になる予定です。

栗田小陸上記録会の練習指導

1学期には5年生、6年生の校内陸上記録会に向けての練習に、4人のボランティアさんが実技指導をされました。

何度も練習に携われて、それぞれの競技種目のポイントを丁寧に指導していただきました。



【裏面があります】

ボランティアさんによる草刈り

去る9月28日(火) 栗田小、栗田中のグラウンドの草刈りを行いました。
今年は真夏時の大雨でグラウンドが雑草で驚くほど伸びていました。
運営協議会の声掛けで、栗田・由良地区から草刈り機やテグワを持って大勢集まつていただき、1時間半あまりで、とても綺麗になりました。
子ども達のために『ああ、エエで!!』の一聲で快くお世話になれる地域の方々の素晴らしいさを改めて感じることが出来ました。
暑い中、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。

栗田小図書室

毎週木曜日に来ていただける委員さんたちが集まり
子どもたちが図書室に来ておしゃべりをしたり、たくさん
の本を読んでもらう環境をつくり、楽しい図書室に少しずつですが、変わりつつあります。

最近、学校で新しい本もたくさん購入されました。
『読書の秋』です。
本に触れる機会をどんどん増やしてほしいものです。
7月の七夕さまには、たくさんの飾りや短冊に願い事を書いて、みんなで大きな笹に飾りました。
その短冊は【しおり】にしてプレゼントしました。
10月はハロウィンということで、塗り絵を作成中です。
みんなの作品は、大きな黒板に張っていきます。

毎週木曜日の朝10時から小学校の
図書室に集まり図書室の環境整備など
を行っています。

本の背表紙や破れた本の修理・本の
ポップ作成・図書室の飾り付けなどな
どです。

ご協力していただける方があれば、
声をかけてください。
お待ちしております。

○運営協議会委員の紹介

千坂 幸雄 (会長・地域コーディネーター)
森 妙子 (副会長)
藤本 長壽
和田野 喜一
山本 文雄 (地域コーディネーター)
今崎 大平
岸田 八重子
石田 由里子
松田 真紀 (中学校PTA役員)
宮前 早苗 (小学校PTA役員)
岡田 隆幸 (中学校校長)
田中 晴彦 (小学校校長)
田中 章二 (中学校教頭)
香山 美知代 (小学校教頭)



あとがき

運営協議会委員の会議もコロナ禍のため、長らく
開催できていません。
学校と子ども達と地域との間で、関わられる取り組
みのアイデアを早く委員会でたくさん話し合いたい
ものです。

第2号

栗田学院コミ♥スクだより

栗田学院学校運営協議会（コミュニティスクール）

地域とともにある学校づくり

学校運営協議会委員が中心となり、学校・保護者・地域が力を合わせて子ども達の成長をみんなで支えていきたいと活動しています。

「できる人が・できる時に・できる事を」をモットーに学校支援ボランティアを進めていきたいと考えています。

栗田学院のこと、子ども達のことを知ってもらい、地域の方一人ひとりが学校とともに栗田学院の子ども達を守り育てる応援団になってもらって、子ども達と一緒に地域を盛り立てていただけたら嬉しく思います。

地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

副会長 森 妙子



谷沢文庫

ご存知の方がたくさんいらっしゃるのではないかでしょうか？

昭和42年2月14日谷沢一(はじめ)君は(当時小学5年生)急性肺炎で亡くなりました。

一君は(栗田)上司の谷沢自転車店の一人息子さんでした。やさしいお母さん思いの子でした。

お母さんはたいへん悲しまれて、一君が読んでいた本とお母さんにプレゼントするつもりで貯めていた2万円を使って、一君の供養のためにと栗田小学校に本を寄贈してくださいました。

そして、立派な【谷沢文庫】が誕生したのです。

その後毎年、一君の命日には1万円分の本を20年近く寄贈してくださっていました。

その意志は、同級生や賛同された方が引き継ぎ、55年たった今も寄贈されている方がおられるそうです。

栗田小学校の図書室を一度のぞいてみてください。

委員 山本 文雄



「読み聞かせ」栗田中学校でも！！

12月2日(木)午前8時30分から10分間、1年生の教室で本の読み聞かせをお世話になりました。

栗田中学校の岡田校長先生から『中学校でも読み聞かせをしてほしい』とのご依頼で、さっそくボランティアさんが快く引き受けてくださり実現しました。

小学生とは違い、本のセレクトも難しかったのではないか？

☆中学校でも、三学期からは定期的に読み聞かせを計画しております。



* 読み聞かせのボランティアさんから心あたたまる感想文をいただきました。

ありがとうございました。 裏面でその感想を紹介させていただきます。

『雑感』

絵本を見るのはいい。
絵に見ほれてしまう。
そのテーマに、切り口に引き込まれる。
そのことばに、絵と文の合わせ様に引き込まれる。
声にして読むのもいい。
子ども達は楽しんでくれただろうか。
『ふ~ん・へ~え・おかしい・こわい・ちょっと泣ける・つまらん』などなど。
一人ひとりがそれぞれに、いろんな心の応答をしてくれますように！
今、参加できることに感謝しつつ。

この秋から、栗田小の読み聞かせに参加させてもらっています。

大型液晶ディスプレーに映し出される絵本の画像を、子ども達はくい入るように見つめ、よく集中して聞いてくれています。

一定の距離が保たれています。

回を重ねるごとに私にも余裕が出てきて子ども達とやり取りしながら、ことばの世界にみんなと浸れるような空気を作り出せるようになりました。

10分間という短い時間ですが、楽しみな時間となってくれれば幸いです。

あとがき

『読み聞かせは奥が深い』



3回の担当を終えてみてこれが率直な感想です。

あまり深く考えず承諾し取りかかりましたが、朝の10分間は児童にとって一日の学校生活の始まりの大切な序章。図書館や自宅での本選びや経験者のお話を伺ったりするうちに緊張感も増し、持参した置き時計があるにもかかわらず、時間が超過して大あわて。

でも真摯でつぶらな瞳に出会うと自分自身も純粋な気持ちを思い起こし、丁寧に取り組まねばと気を引き締めています。

【読み聞かせに使った本】

5年生 風切る翼

6年生 オバマ・娘たちへの手紙

1年生 おでんもおんせん・へいわってすてきだね
オトバあちゃんの回覧板

私、読み聞かせが大好きなおば(あ)さんです。

どきどきしながら6年教室へ。

身近な野菜なのに案外知らない「やさいのおなか」を読み、「せなか」もあるよと紹介したら思いがけず拍手が来てうれしかったです。

3年教室では、動物の鳴き声の本を。

一緒に声を出すことを楽しみました。

2年教室では、久しぶりに手袋シアターを。

終わったら汗びっしょりになりました。

読み聞かせをした日は、子ども達から元気をもらって心がポカポカ。

楽しく幸せな時間をありがとうございました。

教室に入った時には、「今日はどこのおばちゃんかな? どんなお話?」と、少しソワソワそしてワクワクする子ども達も絵本を読み始めるとシーンと絵本に集中です。

読み進めていくうちに、それいろいろなことを想像しながら聞いてくれているのでしょうか。

「うんうん」とうなずいたり、首をかしげたり、笑ったり…と。

様々な表情を見せながら、絵本の世界に入っています。

「今日はこんな話だったよ」とお家でも話してくれるでしようか。

子ども達だけでなく、私もとてもよい時間を過ごさせてもらっています。

あとがき

地域、学校、家庭による協働活動が一步一步進みだしています。

今年度は、読書活動に柱を置き、学校図書室の環境づくりと読み聞かせを中心に地域のボランティアさんにお願いして活動しています。

3学期は中学校での浴衣着付け教室、次年度は海に関することや部活動などの協働活動も考えています。

地区の皆様の要望をお聞かせください。協働活動に反映させていきます。

これからも子ども達の健やかな成長を願って活動していきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。